平成２９年１１月１４日

各大学長
各大学理学部長
各大学工学部長　　殿
各大学理工学部長
各関係機関長

弘前大学教育研究院自然科学系長
加　藤　博　雄
（公印省略）

大気水圏環境科学分野教授（女性教員）の公募について（依頼）

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学系安全システム工学領域では、下記要領により大気水圏環境科学分野の教授（女性教員）を公募することになりました。つきましては、関係各位に周知下さいますようお願い申し上げます。

なお、本件は、本学ホームページの教員公募情報（http://www.hirosaki-u.ac.jp/employment_information.html）にも掲載しております。

記

１．募集人員　教授１名（女性、任期なし）
２．所 属　自然科学系　安全システム工学領域
３．専任担当　理工学研究科（理工学部地球環境防災学科併任）
４．専門分野　大気水圏環境科学
５．担当科目
理工学部：気象学Ⅰ、気象学Ⅱ、気候システム学、地球熱力学、自然災害学概論、全教員担当の必修科目など
大学院理工学研究科：専門分野に関連した科目、研究指導に関連した科目など
教養教育科目：スタディスキル導入科目、自然・科学科目群など
６．応募資格
（１）博士の学位を有する方
（２）大学院博士前期課程・後期課程において主指導教員として教育研究指導ができる方
（３）男女雇用機会均等法第８条の規定により、女性に限定した公募を実施する
７．着任時期　平成３０年４月１日以降のできるだけ早い時期
８．選考方法
（１）書類選考
（２）候補者に対する面接（模擬授業を含む）

９．提出書類

（１）履歴書（写真貼付。高等学校卒業以降の学歴、職歴、資格など）
（２）研究業績リスト（査読付き論文、全文査読付き会議プロシーディングス、著書、登録特許、その他の論文、総説・解説、受賞、招待講演などに分類）
（３）主要論文５編の別刷り（コピー可）
（４）これまでの主要な教育･研究及び社会貢献の概要（２,０００字程度）
（５）今後の教育・研究及び社会貢献に関する抱負と計画（２,０００字程度）
（６）外部資金獲得状況（外部資金の種類、名称、代表者／分担者の別、金額）
（７）応募者に関する参考意見を伺える方２名の氏名と連絡先
（氏名、所属、役職、連絡先所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）
（８）応募者の連絡先

１０．応募期限　平成２９年１２月２８日（木）（必着）

１１．書類提出先

〒036-8561　青森県弘前市文京町３番地
弘前大学理工学研究科　総務グループ（総務担当）宛

※封筒に「教員応募書類（大気水圏環境科学分野教授）在中」と朱書きし、簡易書留、レターパック、ＥＭＳ、その他法令で認められる送付方法により、送付記録の残る方法で送付して下さい。

１２．問合せ先

〒036-8561　青森県弘前市文京町３番地
弘前大学理工学研究科　総務グループ（総務担当）
電話：(0172) 39-3503、FAX：(0172) 39-3513、E-mail：jm3505@hirosaki-u.ac.jp

備 考

（１） 専任担当学科では、地球環境の理解、自然災害の軽減、地域と社会の問題解決に貢献できる人材の育成を目標に、幅広い教育と研究を行っています。
（２） 今回公募する教員には、大気水圏環境科学の教育及び研究を担当し、アジアを中心とした降水データベース構築とその活用による地球規模での水循環や集中豪雨災害等に関連する教育・研究を通じて、気候変動問題への適応や自然災害の軽減に貢献できる人材の育成に意欲のある方を望みます。
（３） 弘前大学では、担当の授業科目が教職認定科目に相当する場合、「自然科学系安全システム工学領域」の他に、「教員養成部門」にも所属することになります。
（４） 面接の際の旅費は原則として応募者負担とします。
（５） 応募書類は原則として返却しません。
（６） 採用後の給与については、弘前大学で規定する年俸制が適用されます。
（７） 弘前大学は男女共同参画を推進しています。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページ(http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/)をご覧ください。

以上